

シゴトで“幸せ”を掴もう! 一幅広いキャリア・サポートで 満足度の高い就職活動を支援一



大分大学 学生支援部
学生・キャリア支援課 課長
水野雅美



キャリア・カフェでのワークショップ

1 沿革

本学は1949年5月に大分の地に開学し、教育福祉科学、経済学、医学、工学の4学部と、教育学、経済学、医学系、工学、福祉社会科学の5つの大学院研究科からなる、学生数約5700名の国立大学である。入学者の出身地では、大分県内が4割、大分を除く九州圏内が4割、中国・四国で1割を占め、九州・中国・四国地区出身の学生が集う地方大学である。

2 「キャリア開発課」から「学生・キャリア支援課」へ

本学の就職支援を振り返ってみると、平成18年4月に、それまでの学生支援課就職支援室から「キャリア開発課」へと、発展的組織変更を果たし、翌年5月には、卒業生の就職相談と進路相談を目的とした「再チャレンジ室」を課内に開設。平成25年4月には、それまでの学生支援課と「キャリア開発課」を合併し、「学生・キャリア支援課」となり、入学から卒業後まで、大学生活全般をサポートする組織へと、変貌を遂げてきている。

3 学生へのキャリア支援とキャリア形成

キャリア支援の側面から見ると、近年、入学後の早い段階からのキャリア意識の啓発や醸成の大切さが叫ばれ、正課内での「キャリア教育科目」と、正課外での「キャリア形成プログラム」

が、車輪の両輪となり、常に各学部との連携や産業界との情勢をはかりながら、低学年から、卒業後まで、学生個人のパーソナリティに応じた就労支援を進めてきた。学生も「自ら学び、自ら仕掛け、行動する」ことで、卒業後の自分の進路を意識しながら、充実した大学生活を送っている。

4 キャリア支援プログラムについて

本学では、次に紹介する6本の「柱」を軸に各学部と連携し、キャリア形成プログラムを企画・実施している。

① キャリア支援プログラム…学部・学年を問わず、学生のキャリア意識の向上と就職活動に対する情報共有、公務員対策等を目的とし、今年度は、26本のガイダンスを実施。

② キャリア・カウンセラーによる相談活動…本学では、キャリア支援専門のカウンセラー、アドバイザーによるキャリア相談とセミナーを実施。卒業後の個別進路相談をはじめ、キャリア支援セミナー、ワークショップ等を実施。

③ インターンシップ…大学と企業・官公庁等との連携の下、学生の就業意識の向上や業界・企業への理解を目的とした就労体験を実施している。参加後、学部にて単位化。

④ シゴト研究セミナー…企業説明会…各業界・企業の採用担当者、学生との接点から、実際の仕事や業界・企業への相互理解やコミュニケーション力を高める場として積極

的に実施している。特に、シゴト研究セミナーでは、「働くこと」と「業界研究」をキーワードとして全学年を対象に、3月以降の企業説明会は、就職活動対象学年が対象。

⑤ キャリアサポーター制度…卒業生が後輩の在学生のために、情報交換や就職助言を実施するサポート制度で、現在750名が登録。毎年、キャリア支援の企画事業に招聘し、後輩に在学生のためのセミナーを実施。

⑥ 保護者対象キャリア懇談会…学部2・3年生の保護者を対象とした情報交換会を5年前から実施。採用責任者や内定学生の講演や情報交換から、就職活動の正しい理解と、わが子の就職活動への適切な助言をしていただくためのセミナー。

5 まとめ

なお、前述のキャリア支援事業とは別に、5年前から、就職内定者による「キャリア・カフェ」をオープンし、就職活動を終え、栄冠を勝ち取った先輩たちが、後輩のために、就職活動のアドバイスやワークショップを企画し、就職活動で得たノウハウや反省を伝える取り組みを行っている。

以上のように、大学の教職員とキャリア・カウンセラーをはじめ、内定学生、卒業生、社会人、保護者等が、連携・協力し合うことで、学生に「シゴトで幸せを掴む」ためのきめ細かなサポートしているのが、本学のキャリア形成の特徴といえる。